

鉾山、建設作業を「足元」から支援



日本ジャイアントタイヤ株式会社

所在地 たつの市龍野町中井338

代表者 伊次 徳雄

TEL 0791-63-0881

○会社概要は

昭和四十六年六月に東洋ジャイアントタイヤ株式会社として創業し、昭和六十年より現在の社名に変わりました。

建設車輛用超大型タイヤの製造メーカーとして、平成六年にISO9002（現在は、ISO9001）、平成十四年には同140

01認証を受けています。

○建設車輛用タイヤとは

当社では、二十五インチから十七インチの大型タイヤを製造しております。月平均の生産本数は約二、八〇〇本、重量換算では二、六〇〇tになります。最大の五十七インチタイヤは、重量四・五t、外形三・五m、幅一・三mにも及

びます。過酷な路面環境下での作業が多い大型建設用車輛は、このような大型タイヤの装着が必要不可欠となります。

○タイヤの製造工程は

大きく分けて十二〜十五の工程があります。流れとしてはまず、天然・合成ゴム、化学薬品をミキサーで混ぜ合わせた混合ゴムを板状に加工します。そして、大型ロール機で何層にも巻きつけていく中で、タイヤ内に高圧空気を充填しても外径が変わらないようにスチールコードを芯材に使い、必要な各種のパーツを貼り付けていき「グリーンタイヤ」と呼ばれるベースタイヤができます。その後、グリーンタイヤをタイヤ金型に入れ、「加硫」と呼ばれる熱を加える工程により最終的なタイヤにします。タイヤの大きさにより数時間から丸一日かけて、高温高圧の熱水を加えゴム成分等の分子結合を進めさせ、強度・弾力性を十分に持ったタイヤとします。完成までに約五日間を要し、厳しい品質検査を通過したものが出荷されま

す。

○ユーザーニーズは

ユーザーニーズの一番は、「耐久性」です。作業性・コストの面から、磨耗しにくくかつ高いパフォーマンスを実現できる製品が求められています。同種タイヤでも現場によっては、磨耗による寿命が半分になることもあります。海外の開発拠点データを基に、製品開発を進めていくと共に、安全性の高い製品作りを目指しており、各生産工程段階での検査やX線検査等を伴う最終検査を厳しく行うことはもちろん、従業員の作業の安全性も高め、ニーズに十分応える高品質製品を提供していきます。



建設車輛用大型タイヤの搬出作業